



ロータリー：
変化をもたらす

ARIDA 2000

No. 821

Club Bulletin

17-18年度 RIテーマ
「ロータリー：変化をもたらす」

会長 大浦輝彦
幹事 辻本正成
クラブ会報委員長 南 良暢

会員増強・拡大月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

例会日/毎週水曜日 19:00

事務局・例会場/〒643-0025 有田郡有田川町土生409
吉備インターゴルフセンター

TEL (0737) 52-8960/FAX (0737) 22-6800

E-mail/arida2kr@star.ocn.ne.jp

URL/http://arida2000rotary.club/

創立年月日/2000年 4月12日

本日のプログラム

平成29年8月9日第822回
ソング「それでこそロータリー」
会長の時間 幹事報告 委員会報告
ニコニコ箱報告 出席報告
クラブ協議会 大原 裕ガバナー補佐

次回のプログラム

8月16日 休会
23日 ガバナー公式訪問
岡本 浩 ガバナー
31日 糸我小学校 校長
和田啓次郎先生

前回の報告（第821例会）

開催日 平成29年8月2日（水）

点鐘 大浦会長

ソング「君が代」「奉仕の理想」

ゲスト 有田南RC直前会長
坊岡 進様



●会長の時間●大浦輝彦会長

今週も毎日暑い日が続いています、皆さん体調管理は万全ですか!?夏になると、有田川沿いでは花火大会が多く開催されています。そこで花火について少し調べてみました。花火大会は大体、7月～8月くらいに開催するところが多いです。8月中旬はお盆です。花火はこのお盆と密接な関係が有るらしいです。お盆は一般には13日から16日の4日間です。お盆には、年に一度祖先の霊が帰ってくる期間であるとされています。13日には祖先の霊が迷わず家に帰ってこられるように目印として迎え火を焚く迎え盆、16日には先祖の霊を送り出すための送り火を焚く送り盆をそれぞれ行



います。お盆と火というのは密接な関係があり、京都の大文字や灯籠流しなどは送り盆のひとつです。では花火は迎え盆と、送り盆のどちらなのかというと、明確には定まっていないようで、それぞれの歴史や起源によるそうです。

東京の隅田川花火大会は日本で最も有名な花火大会のひとつですが、これは元々江戸時代に病氣や飢饉などで多数の死者が出ていた時に、当時の将軍である、徳川吉宗が隅田川の水神祭で花火を披露して、死者の御霊を慰め悪疫退散を祈ったのが始まりと言われています。日本の花火は世界一と言われていますが、花火の起源が日本ではありません。花火の最も古い起源は5世紀の中国で硝石と硫黄と炭を交ぜて燃やすと爆発が起こりやすいことが発見されたようで、火薬の発明になったことから始まります。この時点では戦の「のろし」として使われていたようで、現在のような鑑賞を楽しむものとは少し違ったみたいです。日本の花火は、1543年に種子島に鉄砲と火薬が伝来したことから始まりました。1585年（天正13）の皆川山城守と佐竹衆の対陣に花火の記述があるようですが、この時は未だ、軍需用（鉄砲・大砲・狼煙用）としての使用だったようです。鑑賞・娯楽用の花火はそれより少し後の1613年、イギリス人が徳川家康のために披露したことから始まります。これを徳川家康が見て、三河の鉄砲隊に花火作りを命じて娯楽用の花火（三河花火）が誕生したそうです。吉宗が行った、隅田川花火大会の起源となった行事が1733年に行われたそうです

が、このときに花火師を務めたのが「玉屋」と「鍵屋」であったそうです。この2大花火師が技を競うようにして花火を披露し、それを見た民衆が「たまや〜！かぎや〜！」という掛け声をし、それが現在にも引き継がれている様であります。そしてその後、改良を重ねて様々な色が演出できる現在のような花火となり日本の花火は世界一と言われるまでになったようです。日本以外の国では花火を挙げる日というのは独立記念日だったり新年の年明けだったり、まずメインのイベントがあり花火はおまけに挙げられるみたいです日本の場合「花火大会」という言葉があるように、花火が主役の行事がいくつも、これは日本独自のもの、より良い花火を作ろうと玉屋と鍵屋が競い合ったように、お互いが切磋琢磨する環境ができあがっていった事で、日本らしい発展を遂げていると思えました。

ロータリーの話に戻りまして、8月はロータリー会員増強・新クラブ結成月間です。今週月曜日は会員増強委員の川島さんと永石さんに同行頂きまして、新入会員介入に行きまして。結果は未だであります。皆様の皆さんも、積極的な会員増強活動に取り組んでほしいと思っております。皆さん一人一人の努力の積み重ねが会員増強の結果に繋がると思っておりますので、担当委員会だけに任すのでは無く、私も参加させていただきます。全員が力を合わせる事が大切であると思っておりますので、皆様ご協力よろしくお願い致します。以上で階調の時間を終わります。

●幹事報告● 辻本正成君

- ◆例会変更(掲示)
- ◆ロータリーの友手引き書の案内
- ◆ガバナー事務所夏季休暇のお知らせ8/11~16
- ◆月信第2号(配布)
- ◆有田RC8月プログラム(回覧)
- ◆ふれあいキャンプのお礼状(回覧)
- ◆地区大会事務所の開所のお知らせ
- ◆本日例会終了後、理事会を開催します。



●各委員会報告●

◆ロータリーの友

横組

- P83本の矢でロータリーの魅力をPR
- P10SNSを活用して交流
- P24財団の100周年を祝う
- P32ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識
- P39RI会長エレクトが逝去

縦組

- P15夏は痛風発作に注意を
- P19うれしい恐怖体験
- P26ロータリーアットワーク

●出席報告●

	会員数	出席者数	出席率
本日の出席	17名	14名	82.35%
7/19	17名	16名	94.12%

●ニコニコ箱報告●

- 坊岡 進様：今日は卓話に呼んで頂き有難うございます。
- 大浦輝彦君：皆さんこんばんは。坊岡先生ようこそおいでくださいました。本日の卓話よろしくお願ひします。
- 辻本正成君：坊岡様、本日は宜しくお願ひ致します。
- 永石睦巳君：坊岡様本日は宜しくお願ひ致します。
- 前 任君：有田南RC直前会長坊岡進先生、本日ようこそおいでくださいました。宜しくお願ひ致します。
- 樋口 明君：有田南RC直前会長坊岡進先生、前年度は大変お世話になり有難うございました。本日は宜しくお願ひ致します。
- 上野祥弘君：坊岡直前会長様、本日は宜しくお願ひ申し上げます。
- 佐藤栄志君：坊岡先生、本日の卓話有難うございます。
- 平松一彦君：坊岡直前会長様本日の卓話有難うございます。
- 下林善信君：坊岡先生、本日の卓話よろしくお願ひします。
- 寺村公博君：有田南RC直前会長坊岡様、本日ようこそおいでくださいました。宜しくお願ひいたします。
- 芝 毅君：坊岡先生、今日は有難うございます。
- 上田益稔君：坊岡有田南直前会長様、本日はお越し頂き有難うございます。

●卓話●

「直前会長雑感」

有田南RC直前会長 坊岡 進様

今年度、40周年という節目に会長を拝命致しましたが、副会長、エレクトそして2回目の会長と3年間、どうやら勤め、6月末で、大過なく終わることが出来ました。これひとえに皆様からご協力賜わったお陰です。有難うございました。



40周年ということで、先ず責任を感じ、緊張しましたことは、会長の通常会務に加えて「記念事業」をしなければならないということでした。事業に関しては、戸田実行委員長に全面的にお任せできましたが、記念例会時の会長挨拶を、どのような内容にしようかと考え、最も悩みました。結局40年間歩んできた道について述べるのが最適と考え、開口一番、ガバナー特別代表平松龍雄様（有田RC）のお言葉「ロータリーは真面目に質素にやりなさい」を引用させて頂くことに致しました。そして、その間の重要な出来事として、韓国・城南RCとの友好関係、又、国内の鎌倉西RCとの関係について申し上げるにとどめたしだいで

す。今、40年を顧みて、各周年事業のうち、ビッグワンとでもいいでしょうか、私なりに最も印象に残っていることを少し回想してみます。

初年度（佐々木源次会長）には、ガバナー特別代表の卓話を9回頂いております。これによって有田南RCの基礎が確立したと有難く思っています。5周年（尾崎 弘会長）時、韓国・城南（ソンナム）RCとの友好クラブ締結調印式に田中良典君はじめ7名訪韓しました。以後35年間今日まで友好関係が続いています。現在、城南市は人口100万人で、城南RCはガバナー5名を輩出、子クラブとして10数クラブあり、有田南RCとは規模が全く異なりますが、最初の頃は、両者似かよったところもありました。10周年（坊岡 進会長）時、ポリオプラス基金として100万円贈呈。韓国・城南RCを訪問し、城南市にある素望再活院（重症障害児の施設）に献金。10周年記念式典に城南RCの過去のガバナー李 京求氏が出席してくださいましたが、その後、城南RCの週報に「近くて遠い国、日本」と題して紀行文を出され、その中で、両クラブの友好関係について、「言語・文化・生活様式が違う国民の和合などということは、ロータリーの理念以外になしえないことだと思ふ」と書いておられました。私も同感です。15周年（堀田末男会長）時、クラブソングの制定、有田南RC歌（山本昌美作詞、中北壽治作曲）の制定。20周年（橋本 明会長）時、鎌倉西RCと友好クラブ締結。以後毎年、相互に訪問し、永く続いておりました

が、鎌倉西RCが鎌倉RCと合併しましたので、その時（平成21年）、クラブとしての友好関係はなくなりました。しかしメンバー同士の個人的な交流は今も続いており、これが本来の姿かと存じます。25周年（星田邦弘会長）時、25周年記念事業として「ブックスタート」（有田川町で実施）への協賛。及び女優の司 葉子氏（この時、東京恵比寿RCの直前会長）を式典に招待し、講演を頂いた。このブックスタートは、0歳児健診などの機会に「絵本」及び赤ちゃんと絵本を開く楽しい「体験」をプレゼントする活動です。1992年英国で生まれ、日本では985市区町村で、和歌山県では13の市町村で実施されています（2017年2月現在）。30周年（児島誠一会長）時、韓国・城南RCとのマッチング・グラウンドで、たちばな養護学校へ検査器具贈呈。35周年（野田知良会長）時、桃・柿育英会（東日本大震災遺児育英資金）に100円寄付。この桃・柿育英会は、建築家の安藤忠雄氏が実行委員長として立ち上げたもので、1995年1月の阪神・淡路大震災の時に立ち上げ、10年間支えましたが、今回2011年3月の東日本大震災に対しても支援しています。そして、この度40周年には、有田地方の防犯カメラ設置に協力し、湯浅、広川、有田川町3町に100万円寄贈させて頂きました。もちろん、周年でない年にも多くの奉仕活動がなされておりますが、本日はその一端を申し上げました。



●閉会点鐘●

2016-17年度青少年交換長期派遣生 竹中詩穂さんが帰国しました。「皆様のご支援のお陰で無事にアメリカでの生活を過ごすことが出来ました。有難うございます。10月25日に帰国報告をさせて頂きます。よろしくお願ひ致します。」